



よしむら・まさひで 岡山大学医学部卒。  
同医学部整形外科、福山市民病院、岡山市立  
市民病院などを経て、2018年より津山中央  
病院勤務。20年より現職。日本整形外科学  
会専門医。

近年、自動車自体の安全性が向上し、また運転手の安全運転意識も改善されたことなどから、交通事故死亡例は減少傾向にはあります。しかし、骨盤骨折＝図1＝や開放骨折などの重度の損傷を伴う外傷の多くは、依然として交通事故によるものが多いことに変わりはありません。

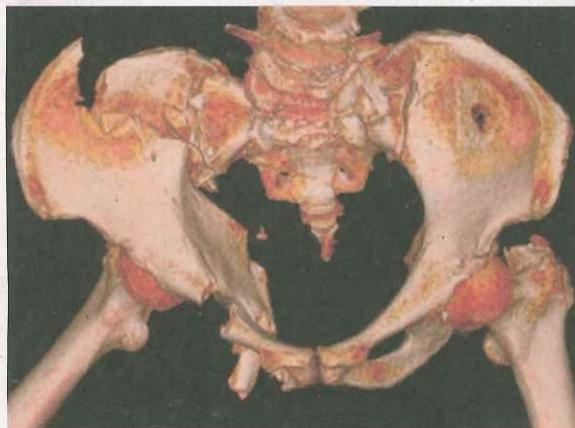
岡山県北地域では特に、安全性が高いとは言い難い軽トラックが関係した事故が少なくありません。その結果として、重度の損傷を負うことが避けられません。農作業あるいは林業による外傷や、動物（牛や鹿、猪など）による外傷、機械に巻き込まれた外傷、なども多いのが県北地域の特徴とも言えます。

# 高度医療で地域を支える2022

吉村 将秀

津山中央病院整形外科医長・  
外傷センター副センター長

図1 骨盤骨折(3D-CT)



また、救急車の台数も限られるため、緊急性の高い患者様は、ドクターへりで搬送されたり、救急ドクターカーが出動したりすることもあります。全身的に重度の損傷形外科単独での診療は困難であり、救命救急科はもちろんのこと、麻酔科や外科、脳神経外科とも連携を図りながら、治療を進めていきます。もちろん緊急手術が必要となることも多く、手術室の協力なしでは治療にあたることは困難です。

患者様の回復のために必要な治療を提供するため、限られた時間の中で治療方針を判断する必要があり、来院時に可能な限り検査（単純レントゲンやCT、あるいはMRI）を行っています。この検査結果を基に、手術が終わればゴールかというと、そうではなく手術後には数週間から数カ月に及ぶリハビリテーションが必要です。ここでは、理学療法士や作業療法士が中心となり、患者様の機能回復に向けたサポートを行い、可能な限り元の生活に戻れるよう努めています。

一人一人の外傷患者様によって、損傷形態や程度はさまざまで、それぞれの患者様が最適な治療を受けられるよう、多くの医療スタッフが一つになり、診療にあたっています。われわれは、岡山県北地域の患者様が負わされた外傷は、なるべく当院で治療を受けていただき、なるべく元の生活に戻ればと考えており、今後も全力で治療を行ってまいります。

図2 膝関節脱臼骨折(3D-CT)

